

令和5年12月25日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
松村 直人
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

准教授1名

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 所属

資源循環学専攻・農業生物学講座・園芸植物機能学教育研究分野

4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

資源循環学専攻では、持続的な社会の基盤としての生物資源を環境に配慮した方法で循環的に利用するための、技術の開発や新しい社会のデザインをすることができる人材を育成することにより、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目指しています。このため、生物の生命の仕組み、それらの生物を取り巻く環境、生物多様性についての学問を通して、生物資源の持続的利用に関する教育・研究を行っています。農業生物学講座では、農学の考え方を出発点として、そこから新たに発展した生物科学を様々な視点から追究し、世界的な食料問題の解決や緑豊かな環境の維持を目的とする基礎から応用までの教育・研究を行っています。

今回公募する園芸植物機能学教育研究分野では、園芸植物がもつ様々な機能を、果樹や野菜の栽培の改善に役立てるための研究を行っています。特に応募を期待する果樹園芸学の分野では、ナシ、ミカンなど三重県における重要な果樹の受精や果実の発育・成熟に関する生理・生化学的研究を行い、高品質・省力生産のための基礎を築いてきました。このように、地域との密接な関係を重視しつつ、世界の食料問題の解決や緑豊かな環境の維持に貢献しています。また、地域の重要な産業である農業分野のイノベーションを推進する人材を輩出し、持続可能な社会の実現に資することを目的として、学生の教育と研究を行っています。

5. 担当予定授業科目（分担含む）

（学部）園芸植物生理学，農業化学実験，フィールドサイエンスセンター農場実習，園芸学，資源循環学演習，卒業研究 など

(大学院博士前期課程) 園芸植物機能学特論, 園芸植物機能学演習, 農業生物学演習, 農業生物学特別研究 I, 農業生物学特別研究 II, 生物資源循環学特論 など
(大学院博士後期課程) 果実発育生理学, 特別演習, 特別実験, 特別調査研究 など

6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し(着任時までに取得見込みも含む), 学部学生および博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。教育機関における学生指導の経験を有していることが望ましい。
- (2) 学部および研究科の教育研究を日本語と英語で行うことができること。
- (3) 農学・農業に関する専門的な知識および経験を有すること。
- (4) 広く園芸植物の生理・栽培・繁殖や, 栽培環境管理に関する優れた研究実績を有すること。
- (5) 地域共創大学としての三重大学の目標を理解し, 地域創生につながる地方公共団体・地元企業などとの研究, 高大連携活動, リカレント教育・リスキリングなどを通じた人材育成に積極的に取り組む姿勢があること。そのため地方公共団体の研究機関などにおける実務経験を有することが望ましい。

*男女共同参画の観点から女性研究者の積極的な応募を望みます。

7. 応募書類(各 1 部を提出)

- (1) 履歴書(A4 版, 写真貼付; 高等学校卒業以降の学歴, 職歴, 学位取得年月日と論文題目, 所属学会, その他学会賞などの受賞歴, 資格など)
- (2) 業績目録(A4 版, 原著論文, 著書, 総説, その他に分け, 発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと。受理された論文は含めるが, 受理に至っていない投稿中の論文は含めない)。学術論文については, 査読制度の有無を記載し, 応募者が筆頭著者もしくは責任著者(**Corresponding author**)の場合には, 論文番号の後にアスタリスク「*」を付すこと。また, 各論文には著者名(応募者にはアンダーラインを付す), タイトル, 発行年月, 雑誌名, 巻(号), ページ番号, DOI を記載すること(記載の順番は問わない)。
- (3) 上記業績目録に係る現物もしくは別刷(コピー可)(代表的な原著論文 10 編以内)
- (4) 研究費獲得実績, プロジェクト参加実績一覧(A4 版, 獲得した研究資金があれば, 代表・分担の別, 課題名, 助成機関, 期間, 金額を過去 5 年間について列記)
- (5) 教育に関する実績一覧
- (6) 学会などでの活動や地域における取り組みなど, 社会貢献・連携に関する実績一覧
- (7) これまでの所属組織などにおける管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの教育研究活動に関する概要(A4 版, 1000 字程度)。業績目録(2)の論文番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負(A4 版, 1000 字程度)。特に, 園芸植物機能学に関連する教育研究の自らの取り組みについて説明してください。
- (10) 応募者の連絡先(住所, 電話番号, 電子メールアドレス)
- (11) 応募者についての照会先
(2 名: 氏名, 所属, 役職, 電話番号, 電子メールアドレス)

なお、応募書類の返却はいたしません。

8. 応募期間 令和5年10月1日（日）～令和6年3月31日（日）（必着）※公募期間延長

9. 選考方法

書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行う場合があります。

面接の場合の旅費は、自己負担となります。

10. 着任時期

令和6年4月1日以降のできるだけ早い時期

11. その他

給与は三重大学年俸制適用教員給与規程による年俸制とし、年俸額は採用候補者の経歴などを勘案して決定されます。

12. 応募書類提出先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻

専攻長 教授 常 清秀

（持参または郵送。郵送の場合は簡易書留で「資源循環学専攻教員公募書類在中」と朱書きのこと）

13. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻 農業生物学講座

講座主任 教授 塚田 森生

TEL : 059-232-1211（三重大学代表）

E-mail: tsukada@bio.mie-u.ac.jp

14. 参考

農業生物学講座教員一覧（令和5年10月1日現在）

教育研究分野	教授	准教授	助教
分子遺伝育種学	掛田 克行		
資源作物学	梅崎 輝尚	長屋 祐一	
園芸植物機能学	名田 和義	（本公募）	
動物生産学	松井 宏樹	伴 智美	
草地・飼料生産学		近藤 誠	
植物医科学	中島 千晴	白水 貴	
昆虫生態学	塚田 森生		

生物資源学研究科ホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/>

資源循環学専攻ホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep01/index.html>

農業生物学講座ホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep01/course01/index.html>

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/junkan/agrobio/>

以上